

# ティーチング・ポートフォリオ

大学名 人間総合科学大学

所 属 看護学科

名 前 小山 道子

作成日 2023年9月19日

### 1. 責務（何を行っているか、何を果たしているか）

私は、人間総合科学大学保健医療学部看護学科の保健師課程の専任教員です。主に保健師課程で選抜された学生（定員 22 名）に対して保健師教育をしています。主な担当科目は、保健師課程 3 年生の「公衆衛生看護技術論」、「公衆衛生看護活動論」、4 年生選択の「健康看護論」、4 年生保健師課程の「公衆衛生看護学実習」、2 年生全員必修「地域看護学概論」、「地域看護活動論」です。さらに、全教員担当の 1 年生「大学生入門」、4 年生「看護研究Ⅱ」、保健師課程 4 年生の保健師国家試験対策（補習講義・模擬試験）も担っています。

学生担当では、4 年生保健師課程の学生を担当し、就職支援、国試対策の支援をしています。委員会では、国家試験委員会、就職支援担当者会の委員として、就職内定 100%、看護師・保健師国家試験合格 100%を目指して学生支援に努め、研究倫理委員会の委員として、倫理審査に携わっています。

### 2. 理念（教育に対する考え方）

私の教育理念は、「わかりやすい」授業、「モチベーションが上がる」臨地実習をすることです。特に、本学の看護学生の基礎学力の低下は他大学と比較し著しいものがあり、これまでの看護学士教育の授業展開、臨地実習をしていたのでは、学生の理解を図ることは困難であると感じています。そのため、授業、実習の前後の事前学習、補習に力を入れて、特に保健師課程の学生には、3 年生の春休み（3 月下旬）と 4 年生の夏休み（8 月下旬）の各 1 週間を補習期間とし、補習授業、実習準備の時間を担保しています。さらに、授業で学んだ知識、技術を実習で展開し、持てる力をつけることです。

基本的に看護は、技術であり、アートであると言われていますが、思考力を養う前の基礎知識の習得にも時間を割いて行かなければと考えています。本学の看護学生は教員から「正解」の答えをもらう姿勢が強いように感じる場合があります。また、間違いや誤りを指摘されることを恐れ、それを回避し、教員との関係において緘黙の姿勢で臨んでいるように感じます。そのため、出来る限り、学生自身の思考、発想を尊重し、間違いや誤りを恐れずに発言することの大切さを伝えていきたいと思えます。

### 3. 方法（教育方法において大切にしていること）

私の看護教員としての時間は、残り少ないです。学生支援の最終目標は、看護師国家試験、保健師国家試験に合格し卒業することにあると考えています。そもそも看護学士の教育の根本は、看護職として地域や臨床の場で実践し、研究してゆく力を養うことにあると思いますので、私の教育方法で大切にしていることについて列挙いたします。

1. 授業、実習について「わかりやすい資料」を作成すること。
2. 授業資料は、教科書に連動するもので、「予習・復習がしやすいもの」にすること。
3. 授業等の説明において、「聞き取りやすく明確な説明」をすること。
4. 学生がどのように感じているか「反応をみること」（リアクションペーパーの配布など）。
5. 学生が「授業に欠席しない工夫」をすること（課題、ミニテストなど）。
6. 「授業に欠席した学生」には、課題を出して学習時間を補うよう促すこと。
7. 課題や事前学習について評価を提示し、「学習の成果を確認させる」こと。

8. 学生の思考、着想、発言に対して「褒め、労いの言葉」をかけること。
9. 学生の間違いや誤りに対して、質問し、「振り返り」を共にすること。
10. 学生には「笑顔で接する」ように心がけること。
11. 学生から不意なマイナス行為、言動を受けても、「感情的にならず」対応すること
12. 他の教員に話を聞いてもらい「気持ちを整えること」(アンガーマネジメント)。
12. 自分の研究成果を授業に盛り込み、教育と研究を連動させること。
13. 学生との「ジェネレーションギャップ」を生じないように心がけること。
14. 地域の看護活動に興味・関心を持ってもらえるよう「実践経験」を盛り込んだ授業・実習指導をすること。

#### 4. 成果 (学生さんからの評価に対して、学生さんの学修成果について)

##### 1. 2023 年度前期の授業アンケートの結果について

授業アンケートの結果は、平均点を超える評価でした。しかしながら、授業アンケートの学生のコメントでは、教員の姿勢について2つに分かれる評価を頂きました。

・地域看護学概論：「資料がわかりやすく、シンプルで内容が濃い。」「復習もしてくれたので、わかりやすかった。」「小テストの配点がよくわからない。」「先生の話すスピードが速く、パワーポイントの字が小さくて板書しにくい。」

・公衆衛生看護技術論：「グループワークの際に丁寧に説明をしてくれた、アドバイスをしてくれた。」「教員間の連携がとれていない。一方の教員の全体で説明すべきことはして欲しい、連携のとれていない教員に『連携』と言われたくない。」

・公衆衛生看護活動論：

「地域診断」発表の日が異なるのは前半と後半のグループでスライド時間に不公平の格差が生じる。」

多数の学生がいる中で、同じ授業内容、教員の授業姿勢について、全員の学生が満足する授業展開をすることはどのように工夫をしたらよいか今後の課題であると考えます。

前期の授業は、統合実習、公衆衛生看護実習と並行して行われ、私個人としてはかなり体力的にも精神的にも負担を強いられます。そのため疲弊しないようによりすることで精一杯でした。授業と実習を同時進行する教育体制にあって、時間的ゆとりは必要であったと思いますが、今後は、次の点に気を付けて取り組んでいこうと思います。

- 1) 授業中の演習においては他の教員との打ち合わせ等に時間を担保する。
- 2) 演習の取り組みが遅く、授業の欠席も目立つ成績不良の学生には、声をかけるようにする。
- 3) 授業、実習の準備に時間をかける。

##### 2. 昨年度 4 年生保健師国家試験の結果について

昨年度(9 期生)の保健師国家試験の結果は、17 名中 1 名が不合格でした。不合格の学生は、国試直前で受験に対するモチベーションを失くす言動があり、全員合格に対してどのように取り組むか検討してゆきたいと思います。

## 5. 目標（教育活動の中短期目標と達成時期）

1. 公衆衛生看護学実習（4年生保健師課程）⇨到達時期 2023年11月
  - 1) 学生全員の実習参加を達成する。
  - 2) 臨地からの実習評価を得る。
2. 地域看護活動論（2年生後期必修科目）⇨到達時期 2024年2月
  - 1) わかりやすく、見やすい資料を作成し、説明をする。
  - 2) 復習、予習をする授業の工夫をする。
  - 3) 地域看護に興味関心をもってもらふ授業を展開する。
  - 4) 全員単位を取得する。
3. 保健師国家試験（4年生保健師課程）⇨到達時期 2024年3月
  - 1) 看護師・保健師のダブル受験の全員合格（100%）
  - 2) 看護師国家試験と保健師国家試験の並行した学習の成果が上げられる。

### 【添付資料】

1. シラバス
  - 1) 地域看護学概論
  - 2) 地域活動論
  - 3) 公衆衛生看護技術論
  - 4) 公衆衛生看護活動論
  - 5) 公衆衛生看護学実習
2. 授業アンケート